

甲賀・湖南成年後見センター ぱんじー H26 年度事業報告

【総括】

平成 25 年 10 月より事業を開始し、2 年目を迎えた。

相談員の増員が進まない一方で、相談件数が増え続け、年度後半は十分に対応できたとは言えない状況だった。

平成 25 年度より検討をしてきた「甲賀圏域権利擁護支援システム検討会」については、調査、先進地視察などを行い、検討を重ねてきた。27 年度以降も継続して検討の場を設けていくことの確認をすることができた。

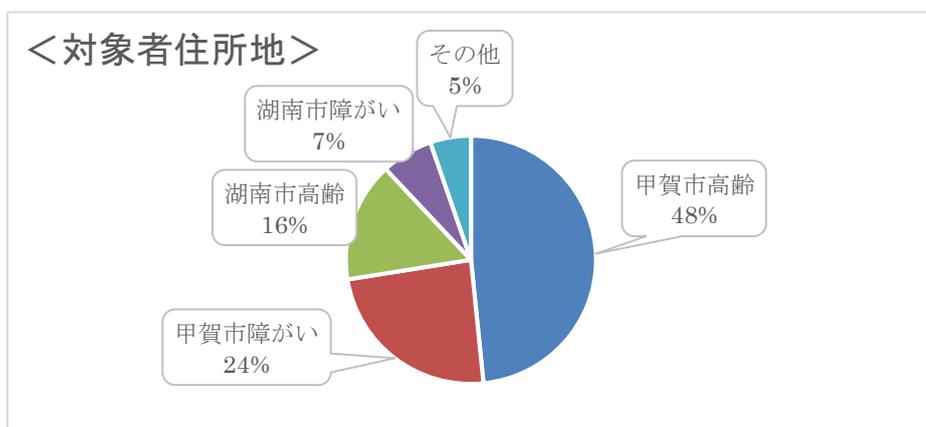
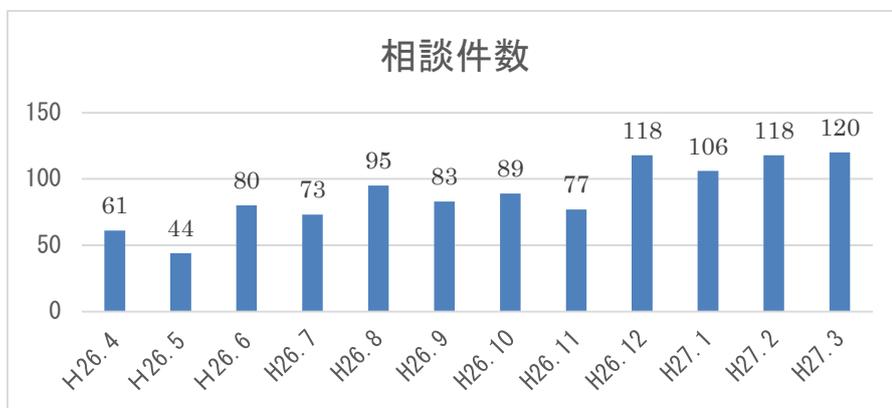
【1. 相談事業】

成年後見制度の利用に関する相談をはじめ、広く権利擁護に関する相談、支援を行った。

市民からの相談、福祉医療関係機関、関係者からの相談など、相談元は多岐に渡った。

弁護士会、司法書士会、社会福祉士会などの専門職団体の協力を得て、専門職からの助言を受けることができた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	11	12	23	16	24	18	15	23	34	37	24	35	272
来所	12	6	9	14	12	20	19	22	14	14	24	18	184
電話	30	22	38	32	52	36	46	29	57	45	57	52	496
その他	8	4	10	11	7	9	9	3	13	10	13	15	112
計	61	44	80	73	95	83	89	77	118	106	118	120	1064
平成 25 年度							39	44	59	48	60	52	



専門相談

弁護士会、司法書士会リーガルサポートの協力を得て、毎月2回専門相談を行っている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
弁護士	1	0	4	0	0	1	0	0	2	0	2	1	11
司法書士	0	0	0	0	1	2	1	2	2	0	0	1	9

出張相談

毎月1回、ぱんじーの相談員が各地へ出向き、相談会を行っているが、11月以降、開催できなかった。

4月(水口)	5月(石部)	6月(土山)	7月	8月(甲賀)	9月(水口)	10月(甲西)
0	2	0		1	0	1

高齢者・障がい者なんでも相談会

7月17日(土) サンライフ甲西 相談20件(相談員 41名)

1月17日(土) 水口社会福祉センター 相談11件(相談員 51名)

【2. 普及・啓発・研修事業】

ホームページの更新

事業開始後まもなくホームページを開設した。随時更新を行っている。

<http://pan-g.com/>

通信の発行

年間4回の通信の発行を行った。(4月・7月・10月・1月)

会員、関係機関、出前講座等の参加者へ配布した。

出前講座・研修等講師派遣

成年後見制度を広く知ってもらうための出前講座を行う。

高齢者・障がい者をもつ家族・保護者を対象として成年後見制度に関する研修を行う。

- ・5月22日 湖南省介護保険事業者協議会 研修会 講師
- ・5月30日 社会福祉法人しがらき会 職員研修
- ・6月29日 湖南省手をつなぐ親の会 会員研修 講師
- ・7月25日 県社協 地域福祉権利擁護事業 新任職員研修会 講師
- ・8月8日 社会福祉法人しがらき会 職員研修
- ・9月24日 甲賀市民生委員児童委員協議会連合会 生活福祉部会研修会 講師
- ・10月1日 甲賀市身体障害者相談員・知的障害者相談員合同研修会 講師
- ・10月5日 介護老人保健施設ケアセンターこうせい 秋桜まつり「なんでも相談コーナー」担当
- ・11月7日・10日 NPO法人 滋賀県社会就労事業振興センター 「介護職員初任者研修」 講師
- ・11月30日 甲賀市社協「障がい者・高齢者暮らし応援セミナー」 講師
- ・12月13日 社会福祉法人グロー公開講座
「障害者虐待防止法施行から2年 権利擁護の意識はどう変わったか？」 助言者
- ・2月11日 イワタニランド自治会 お茶の間サロン 研修講師
- ・2月18日・19日 滋賀県介護サービス事業者連合会 管理者研修 講師
- ・2月26日 県社協主催「H26年度 権利擁護支援フォーラム」実践報告
- ・3月20日 社会福祉法人 やまなみ会 職員、保護者会研修講師

研修会の企画・運営

○9月18日 忍びの里ぶらら 昼の部「虐待対応のポイント～養護者編」 参加者：42名
夜の部「虐待対応のポイント～施設等従事者編」 参加者：58名
(甲賀市高齢者虐待防止、啓発事業 受託)

○3月21日 水口社会福祉センター 福祉ホール
滋賀県社協権利擁護センターとの共催で「ケアマネジャーのための支援困難ケースの解決を考える研修会」を行った。

龍谷大学社会学部臨床福祉学科山田容准教授を講師に迎え、弁護士、司法書士、精神保健福祉士の専門職から助言を受けながら事例検討を行った。

これまでばんじーは事業所向けの調査などを通して、「支援者支援」の重要性を伝えてきたが、この支援者支援事業は、権利擁護支援の中核となるセンターとして、重点的に取り組んでいくことを確認できた。

対象者：甲賀市、湖南市内居宅介護支援事業所等介護支援専門員
甲賀市、湖南市地域包括支援センター職員 等
参加人数：27名

～参加者アンケートより～

- ありがとうございました。また、こういう事例検討会をしたいです。
 - 支援者支援の大切さを共有できたと思う。今後もこのような研修を開催してほしい。ありがとうございました。
 - 支援困難ケースは支援者自らが作り出してしまうリスクもあるように感じました。
 - 実のある研修を受けさせていただきありがとうございました。久しぶりの研修にこんな良い研修でありがたかったです。
 - 地域福祉権利擁護事業や成年後見制度の内容を詳しく学びたい。
- とてもいい経験でした。異業種の方からの様々な意見も目からウロコのような感覚で聞かせていただいております。今後ともよろしく願いいたします。
- 今日はありがとうございました。気軽になんでも相談できそうです。

【3. 権利擁護支援システム検討事業】

権利擁護支援システム検討会

平成25年度に続き、圏域の権利擁護支援のあり方について検討を行った。

年度末には、これまでのばんじーの事業および調査などの実践を通して、報告書をまとめ、「甲賀圏域権利擁護支援推進協議会（仮称）」として継続して検討していくことを確認した。

平成26年5月29日 (小委員会) 平成26年6月13日 (検討会)	• H26年度計画について • 本検討会のすすめ方について
平成26年7月30日 (小委員会) 平成26年8月6日 (検討会)	• 「高齢者・障がい者なんでも相談会」報告 • 研修「先進地実践報告」芦屋市 • 調査研究について
平成26年11月12日	先進地視察研修「兵庫県芦屋市」
平成26年12月11日 (小委員会) 平成26年12月19日 (検討会)	• 先進地視察研修報告 • 調査について(アンケート調査、ヒアリング調査) • 提言について

平成 27 年 1 月 26 日 (小委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ・提言(案)について ・権利擁護支援システム検討会報告について ・今後の取り組みについて
平成 27 年 2 月 3 日 (検討会)	

調査

調査1 圏域の相談支援従事者へのアンケート調査

支援が困難と感じるケースの要因や、それに対する支援者支援のあり方を明らかにした。今回の調査では相談支援に関わる専門職の多くが支援困難ケースを担当し、対応するうえでの問題点を抱えており、その問題としては、支援のための資源不足、支援者のスキル不足に関することが多くあげられており、スキルアップの取り組みやスーパービジョンの活用についても活用したい。という希望はあるが、実際には難しい実態が明らかとなった。

調査2 成年後見受任団体等に対するヒアリング調査

県内の成年後見受任団体(NPO 法人、社協)または、専門職団体の受任者に、権利擁護支援システムとしてあるべき機能を探るために、現状と課題の聴き取りを行った。今回の調査の目的のひとつである、「連携」については、少なからず困難を感じており、権利擁護支援が必要なケースに対し、支援者の核が不明確なケースや支援者が同じ支援方針でない場合に、連携に困難さを感じていることが明らかとなった。

先進地視察

日 時：平成 27 年 1 月 12 日

兵庫県芦屋市トータルサポートシステムおよび、権利擁護センターについて

参加者：甲賀市、湖南省行政職員、甲賀市、湖南省社協職員、県社協権利擁護センター職員
権利擁護支援システム検討会委員、ぱんじー役員等 22名

市民後見のあり方を検討する事業

権利擁護支援システムを検討する中で、圏域の市民後見のあり方についても検討課題としていたが、議論には至らず、次年度以降の課題としたい。

【4. 成年後見等に関する事務の提供】

成年後見制度申立支援をとおして、家庭裁判所と連携しながら支援を行った。

また、支援過程で市長申立となった事例においても、審判後の支援体制が整い、後見人等へ引き継ぐまでは支援を継続できた。

相談員の増員が果たせず、法人後見受任に向けての準備ができなかった。

成年後見制度申立支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
申立完了件数	3	2	2	1	2	1	0	0	0	2	3	1

※家裁への申立完了、審判後、後見人等への引き継ぎまでを支援した事例。

H27. 3月末までに、市長申立、専門職による申立代理へ移行したケース、継続ケース・・・17件

【5. その他】

事例検討会

支援者自身が、悩みながら支援を行っているいわゆる「困難事例」に関して、参加者と共有し、それぞれの意見を交換する場として継続していく。

- ・ 5月26日 出席者22名（テーマ「被後見人が親権をもつ場合の子の支援」）
- ・ 8月18日 出席者 7名（テーマ「認知症高齢者の自己決定の尊重」）
- ・ 10月30日 出席者12名（テーマ「ギャンブル依存症の方の権利擁護支援のあり方」）

甲賀地域障害児・者サービス調整会議への参加

相談支援ネットワーク部会、運営会議のメンバーとして、それぞれ毎月1回の会議へ出席した。
5月20日全体会、9月2日相談支援ネットワーク部会では、実践報告を行った。

高齢者・障がい者虐待検討会議への出席

平成25年度までは、甲賀市高齢者虐待事例検討会議のみであったが、今年度からは、甲賀市障がい者虐待事例検討会議にも出席した。（甲賀市高齢者：毎月2回程度および緊急招集／甲賀市障がい者：年3回）
湖南市においても、弁護士会、社会福祉士会による”虐待支援ネット“との契約後、検討会議に出席した。

その他委員等

- ・ 甲賀市高齢者虐待事例検討会 毎月2回以上
- ・ 甲賀市地域ケア会議委員 2/25、8/26
- ・ 湖南市障がい者計画策定委員
- ・ 甲賀市障がい者虐待事例検討会 7/31、11/28、2/27
- ・ 湖南市高齢者障がい者虐待事例検討会 11/4、1/23
- ・ 県社協 滋賀県権利擁護委員会
権利擁護支援システム構築に関する部会委員 7/22、9/26、12/9、1/26
- ・ 滋賀の縁創造実践センター甲賀ブロック委員

視察受け入れ

- ・ 12月3日 舞鶴市健康福祉部 3名
- ・ 12月18日 奈良県社協 2名